

社会資本総合整備計画（第5回変更）

「天岩戸地区（2期）都市再生整備計画」

（宮崎県高千穂町）

令和7年3月28日

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

令和7年3月28日

計画の名称	天岩戸地区(2期)都市再生整備計画			重点配分対象の該当
計画の期間	令和3年度	～	令和7年度	交付対象
計画の目標	高千穂町			

- 大目標：神都高千穂の活性化をサポートする天岩戸の顔づくり
 目標1：天岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり
 目標2：天岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまちづくり
 目標3：天岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり

計画の成果目標(定量的指標)

- 高千穂町を訪れる年間入込観光客数を758千人/年から1,030千人/年に増加させる。
- 高千穂町に宿泊する年間観光客数を114千人/年から142千人/年に増加させる。
- 高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額を39億円/年から54億円/年に増加させる。
- 天岩戸地区門前通りの歩行者を110千人/年から145千人/年に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (R2末) 最終目標値 (R7末)

備考

高千穂町を訪れる年間入込観光客数	758千人/年	1,030千人/年
高千穂町に宿泊する年間観光客数	114千人/年	142千人/年
高千穂町を訪れる観光客の宿泊・土産品・飲食に係る年間消費額	39億円/年	54億円/年
天岩戸神社を核とした中心地の歩行者数	110千人/年	145千人/年

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	291.0百万円	A	291.0百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%
-------	--------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R3	R4	R5	R6	R7				
1-A-1	都市再生	一般	高千穂町	直接	高千穂町	都市再生整備計画(天岩戸地区(2期))	道路整備等 1,150ha	高千穂町						291.0	-	-	
									合計					291.0			

B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R3	R4	R5	R6	R7				
									合計					0			

C 効果促進事業(該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									R3	R4	R5	R6	R7		
									合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									R3	R4	R5	R6	R7		
									合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

交付金の執行状況

(単位:百万円)

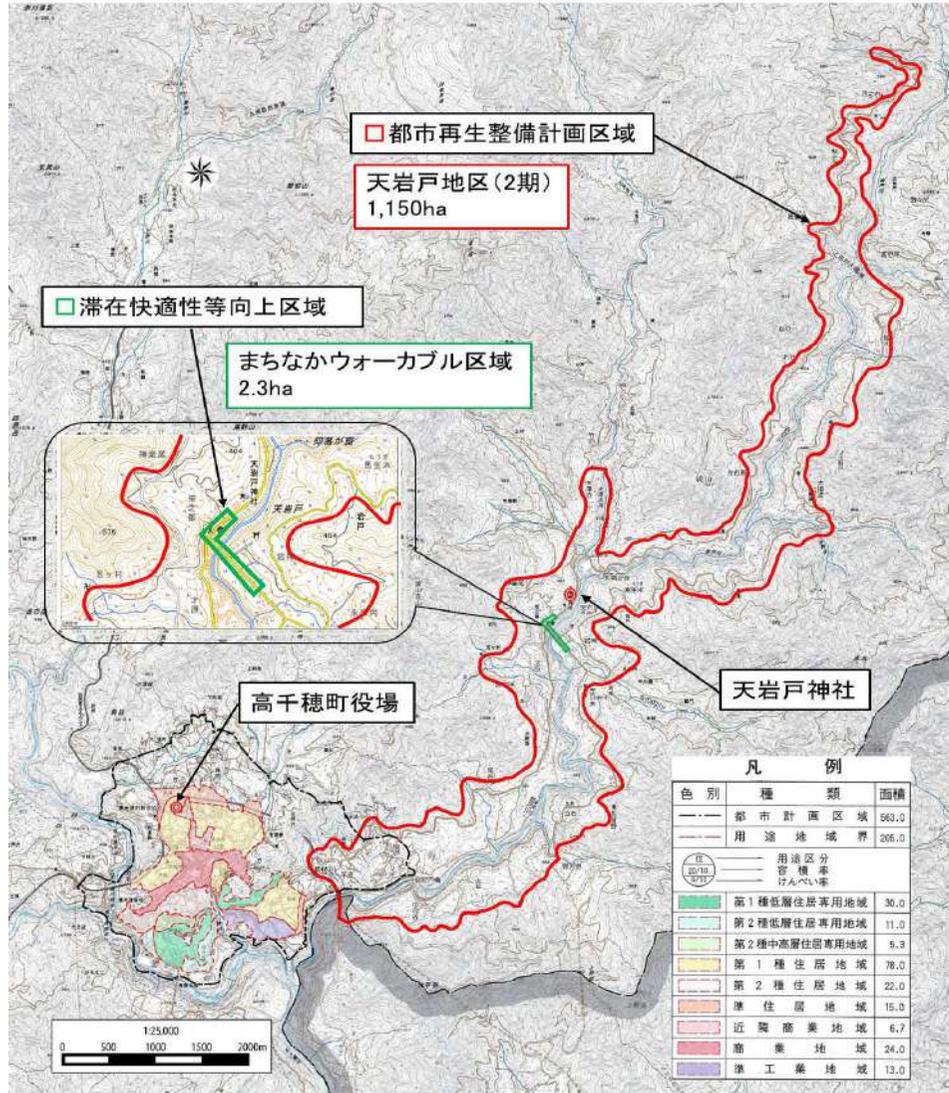
	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	29.000	62.900	38.600	1.200	
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000	0.000	
交付額 (c=a+b)	29.000	62.900	38.600	1.200	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	13.703	4.316	22.489	
支払済額 (e)	15.297	72.287	20.427		
翌年度繰越額 (f)	13.703	4.316	22.489		
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	20.589		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.000%	0.000%	0.000%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 令和3年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3)

(参考図面)

計画の名称	天岩戸地区(2期)都市再生整備計画		
計画の期間	令和3年度～令和7年度	交付対象	高千穂町



都市再生整備計画(第5回変更)

あまのいわと
天岩戸地区(2期)

宮崎県 たかちほ
高千穂町

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	宮崎県	市町村名	たかほちよう 高千穂町	地区名	あまのいわと 天岩戸地区(2期)	面積	1150 ha
計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度	交付期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度				

目標
 大目標: 神都高千穂の活性化をサポートする天岩戸の顔づくり
 目標1: 天岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり
 目標2: 天岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適なまちづくり
 目標3: 天岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ●まちづくりの経緯
 ・天岩戸地区では天岩戸まちづくりの会が組織され、地元商店会や公民館と共に天岩戸の賑わいづくりを目指して、地域の魅力の発信、天岩戸地区内の観光ルートマップ作成、天岩戸神社の参道となる門前通りにおける季節に応じた飾り付けなど様々な活動を展開している。
 ・平成16年12月に地域住民が主体となり地域の中心部である天岩戸神社参道周辺の商店街における街並み観察(タウンウォッチング)を含むワークショップを開催し、「天岩戸のまちな風景をつくる私たちの暮らし」をテーマとした参道の街並みのあり方について提案を行っている。
 ・旧高千穂鉄道を利用した観光活性化を図るため、旧高千穂駅から旧天岩戸駅区間においてスーパーカート(トロック列車)の運行が行われている。
 ・平成28年11月に天岩戸地区のまちづくりや活性化に取り組む団体の地元関係者が中心となり天岩戸地区まちづくり協議会が発足し、まちづくりに関して活発に意見を交わし、ワークショップやイベント等を企画している。
 ・都市再生整備計画天岩戸地区(平成28年度～令和2年度)(以降、「第1期計画」と表記)では、東本宮の南駐車場整備、門前通りの交流施設整備、遊歩道の高質化等の事業を実施してきた。
 ●まちな現況
 ・高千穂町には宮崎県で最も多い年間約140万人もの観光客が訪れているが、宿泊客数は総観光客数のその約1割にとどまっており、典型的な通過型の観光地となっている。
 ・高千穂町の代表的観光スポットである天岩戸神社が立地し、春季及び秋季大祭時や観光オンシーズン時には多くの観光客が訪れている。
 ・しかし令和2年には、新型コロナウイルスの流行による緊急事態宣言の発令に起因した、外出自粛要請や県境をまたぐ移動の自粛要請の影響を受け、観光客が減少し高千穂町の主要産業である観光業の早期回復が求められている。
 ・天岩戸地区へのアクセスは自家用車が主体であり、大祭開催時においては多くの自動車地区内に流入し、駐車場のキャパシティが必要に追いついていない状況にあり、これが要因となって地区内道路において渋滞も発生している。
 ・天岩戸神社は春季・秋季大祭時においては多くの観光客が訪れるものの、これ以外の時期においては観光客の来訪が比較的少なく、年間を通じた賑わいに欠けている。
 ・天岩戸神社の参道を形成する門前通りは天岩戸地区の商業拠点として位置づけられ、町が進めてきた門前通りの舗装高質化や交流施設整備などの事業により、徐々に周辺の町並みを含めた参道としての雰囲気も形成されつつあるものの、未だ人通りは少ない状況にある。
課題
 ①神都高千穂を象徴する歴史・文化資源である天岩戸神社の活用や滞在時間の延長によるまちな活性化に向け、神々の郷としての雰囲気づくり、訪れる人の利便性を高めるサービスの提供・滞在時間の延長を図る必要がある。
 ②天岩戸地区内に多く存在する歴史・文化資源を生かした地区内全体を周遊して楽しめるように、各名所間の案内・誘導機能の強化によりアクセス性や回遊性、一体的な観光地としての利便性の向上が必要である。
 ③天岩戸神社を訪れる多くの観光客を門前通りに誘導し天岩戸地区の商業拠点として、まちな賑わいを演出するため、周辺にある渓谷沿いの神秘的な自然景観を楽しむための基盤整備や憩いの場の創出といった仕掛けづくりが必要である。

将来ビジョン(中長期)
 ■第6次高千穂町総合長期計画
 ●まちな将来像:「神々と自然と人とのつながりを次世代へ—————」
 ■第2期高千穂町まち・ひと・しごと創生総合戦略
 ●施策の基本的な方向
 【観光と連携した、市街地活性化の推進】→ 観光客や住民が楽しみながら、かつ快適に市街地・観光地を周遊できる通りを中心市街地に整備していく。
 【滞在を前提とした、魅力ある観光地づくりと誘客強化の推進】→ 宿泊を伴う魅力的な観光プログラムの作成や、幅広い客層に対する新たなPRの展開など、様々な可能性を検証し、戦略的な観光振興を図る。
 【歴史と文化を活かした、地域振興・観光振興の推進】→ 夜神楽を始めとした地域行事に町外の人が触れることは、観光だけでなく、移住・定住の促進にも効果的である。地域の魅力を伝える。高千穂町内の神社を始めとした文化財や史跡に加え、地域に伝わる様々な行事や文化も含めた「神都」としての高千穂町の神秘的なイメージを有効活用し、観光振興や町のPRを促進していく。
 ■阿蘇くじゅう観光圏整備計画
 ●コンセプト:「阿蘇カルデラ」～命きらめく草原の王冠～
 ●観光地域づくりのキャッチコピー:「Share our lives」この地に根付いてきた自然と人との「share」の心で、大地の息吹が感じられる多様な自然と私たちの「共生」、地域の遺産・人材・情報の「共有」を、ここで暮らし働く人も訪れる人もみんなで分かち合い続けていく観光地域づくりを目指す。
 ●高千穂町の位置付け:高千穂峡や天岩戸神社に代表される神話の里としての日本で有効な観光地であり、宿泊施設も充実していることから、滞在促進地区としての位置付けにある。
 ●高千穂町における取り組み方針:【ブランディング】阿蘇くじゅう高千穂地域が一体となって世界に誇る観光地として存在感を際立たせていくため観光圏のブランドイメージを確立する。【周遊基盤整備】阿蘇くじゅう高千穂地域を舞台とした周遊の仕組みや仕掛けの整備をする。
 ■高千穂町観光マスタープラン
 ●基本目標:暮らし、文化、自然を紡ぎ、チャレンジを通じて次の世代に想いをつなぐ、神話の里 高千穂 ～オール高千穂で変化し続ける持続可能な観光地域づくり～
 ●基本方針
 ・来訪者調査及びブランディング・プロモーション戦略の検討 ・観光消費額増に向けた滞在型コンテンツ等の造成 ・受け入れ体制整備とおもてなしの実践 ・戦略の効果的な推進 ・安全・安心な観光地域づくり

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画

滞在快適性等向上区域の考え方
 天岩戸地区の賑いの拠点となる門前通りを中心とし、天岩戸神社東本宮南駐車場から天岩戸神社西本宮までの約500mを滞在快適性等向上区域に設定し、1期計画の整備を活かし、神々の郷としての商業・観光の活性化と人を誘引する魅力あるまちづくりを推進する。

滞在快適性等向上区域での取組
 快適な歩行空間を形成するために天岩戸神社周辺にトイレ・案内板を整備する。
 人をまちなかに誘引するために、神話につながる神々の道をイメージした空間を創出する岩戸川歩道橋の整備をする。
 門前通りの賑わい性を高めるため、チャレンジショップ開店支援などの空き店舗を活用した取り組みの展開を図る。

都市再生整備計画事業の計画

都市のコンパクト化の方針
 本町のまちづくり方針は、『居住』、『都市機能』、『交通』という3つの軸を基本とし、本町の特徴であり、3つの軸に共通する『観光』を加えた4つの方針としている。当該地域は、本町を代表する観光地を持ち、また出張所や食料品店、郵便局等の生活を支える施設が立地する地域であるため、高千穂町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画において、中心拠点と地域連携軸で結ばれた「観光拠点」及び「生活拠点」に位置づけており、拠点としてふさわしい都市機能の充実や魅力的な空間の形成を推進する方針である。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
高千穂町入込観光客数	千人／年	高千穂町を訪れる年間入込観光客数	入込観光客数の増加が、目標に掲げる「歴史・文化資源を活用する魅力あふれるまち」としての機能向上の度合いを示す。	758	令和2年	1,030	令和7年
宿泊観光客数	千人／年	高千穂町に宿泊する年間観光客数	宿泊観光客数の増加が、目標に掲げる「回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまち」としての機能向上の度合いを示す。	114	令和2年	142	令和7年
観光客消費額	億円／年	高千穂町を訪れる観光客の年間総消費額	観光客消費額の増加が、目標に掲げる「商業・観光の活性化による活気あるまち」としての機能向上の度合いを示す。	39	令和2年	54	令和7年
門前通り歩行者	千人／年	天岩戸神社を核とした中心地の年間歩行者数	魅力ある滞留空間の創出によって滞留する人の数が増加が、回遊性の向上および商業の活性化の度合いを示す。	110	令和2年	145	令和7年

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●天岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 天岩戸固有の観光資源、歴史・文化(天岩戸神社、天安河原、神楽など)の情報発信機能と住民や観光客の交流・体験・集い機能が集積した交流拠点として、案内板・説明板の設置や映像資料の上映など、交流施設の活用を図る。 天岩戸固有の観光資源、歴史・文化の魅力の発信、資源間の回遊性を高めるための、案内・誘導機能の強化を図る。 神々の郷としての雰囲気づくりを図る。 阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社や天安河原、岩戸川沿い等の周辺環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める周辺住民と連携した滞在型観光地を目指すために、地域住民だからこそ知っている歴史や地域に残る歴史・文化を生かした資料作成を通じて、周辺住民のまちづくりへの積極的な参画を図る。 	<p>○都市再生整備計画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業 <ul style="list-style-type: none"> 【地域生活基盤施設】:案内板整備事業、ビューポイント整備事業、神話スポット事業 ●提案事業 <ul style="list-style-type: none"> 【地域創造支援事業】映像資料作成事業(アーカイブ・史跡説明映像)、ビューポイントデザイン創出事業 【事業活用調査】事後評価
<p>●天岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 神都高千穂に相応しい雰囲気づくりや通りの回遊性、全ての人が利用しやすい環境を高めるため、安全・快適な歩行者空間や憩い・休息空間の形成を図る。 観光客の利便性向上やまち中への誘導効果を高めるため、観光案内などの誘導機能やトイレ機能の強化を図る。 阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社や天安河原、岩戸川沿い等の周辺環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 天岩戸神社及び門前通りを中心とした天岩戸地区内の回遊性および誘導の向上させるため歩道橋空間を図る。 	<p>○都市再生整備計画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業 <ul style="list-style-type: none"> 【地域生活基盤施設】:案内板整備事業 【高質空間形成施設】:東本宮南駐車場トイレ整備事業、門前通り改修事業、歩道橋空間創出事業 ●提案事業 <ul style="list-style-type: none"> 【事業活用調査】事後評価 ○まちなかウォークラブル推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 【高質空間形成施設】:歩道橋空間創出事業、門前通り改修事業、東本宮トイレ整備事業
<p>●天岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 門前通りの賑わい性を高めるため、空き店舗を活用した取り組みの展開を図る。 住民が主体となって、まちの活性化方策やまちづくりの進め方を検討する場の提供を図る。 阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社及び天安河原周辺の環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める周辺住民と連携した滞在型観光地を目指すために、空き店舗を活用したチャレンジショップ開店支援を実施する。 既存店舗の街並み景観を神々の郷としての雰囲気作りに取り組み、商業の活性化に展開を図る。 	<p>○都市再生整備計画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●提案事業 <ul style="list-style-type: none"> 【地域創造支援事業】:チャレンジショップ開店支援事業 【事業活用調査】事後評価
<p>その他</p>	

天岩戸地区(宮崎県高千穂町)	面積 1,150(2.3) ha	区域 大字岩戸、上岩戸の一部
----------------	------------------	----------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

